

議決事項

件名	提案理由	審議の状況	採決の次第
<p>報告第8号 垂水市奨学資金奨学生選考委員の委嘱について</p>	<p>垂水市奨学資金奨学生選考委員を教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。 委嘱期間：平成30年4月1日から平成32年3月31日まで。</p>	特記事項なし	
<p>報告第9号 市・県スクールカウンセラー、市スクールソーシャルワーカー、市・県スクールガードリーダーの委嘱について</p>	<p>市・県スクールカウンセラー、市スクールソーシャルワーカー、市・県スクールガードリーダーを教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。 委嘱期間：委嘱日から平成31年3月31日まで。</p>	特記事項なし	
<p>報告第10号 垂水市視聴覚ライブラリー運営委員の委嘱について</p>	<p>垂水市視聴覚ライブラリー委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。 委嘱期間：平成30年4月1日から平成32年3月31日まで。</p>	特記事項なし	
<p>報告第11号 平成30年度垂水市地区公民館館長・主事の任命について</p>	<p>平成30年度垂水市地区公民館館長・主事を教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。</p>	特記事項なし	

<p>議案第11号 平成30年度垂水市奨学資金奨 学生の決定について</p>	<p>奨学生選考委員会の 答申を受けて奨学生の 決定をしようとするも のである。</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>承 認</p>
--	--	---------------	------------

平成30年度第 2 回教育委員会定例会出席者

日時及び場所	出席者	
<p>平成30年5月10日（木）</p> <p>午後2時00分</p> <p>↓</p> <p>午後4時05分</p> <p>第2研修室</p>	<p>教育長 坂元 裕人</p> <p>教育委員長 野村 繼治</p> <p>教育委員 田原 正人</p> <p>教育委員 中谷 いつみ</p> <p>教育委員 葛迫 幸平</p>	<p>教育総務課長 紺屋 昭男</p> <p>学校教育課長 明石 浩久</p> <p>社会教育課長 野嶋 正人</p>

会 議 要 旨

1 開 会

定刻、定足数に達しており、平成30年度第2回教育委員会定例会を開会した。
議案第11号は非公開で審議する旨、教育長から発議があり、全会一致で議決された。

2 平成30年度第1回教育委員会定例会会議録の承認

承認

3 議 事

報告第 8 号 垂水市奨学資金奨学生選考委員の委嘱について

報告第 9 号 市・県スクールカウンセラー、市スクールソーシャルワーカー、
市・県スクールガードリーダーの委嘱について

報告第 10 号 垂水市視聴覚ライブラリー運営委員の委嘱について

報告第 11 号 平成 30 年度垂水市地区公民館館長・主事の任命について

議案第 11 号 平成 30 年度垂水市奨学資金奨学生の決定について

4 その他

5 委員並びに教育長及び課長報告

6 閉 会

議事内容等

3 議事 学校教育課長	報告第 8 号 垂水市奨学資金奨学生選考委員の委嘱について 垂水市奨学資金奨学生選考委員を教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告。 (質疑なし)
学校教育課長	報告第 9 号 市・県スクールカウンセラー、市スクールソーシャルワーカー、市・県スクールガードリーダーの委嘱について 市・県スクールカウンセラー、市スクールソーシャルワーカー、市・県スクールガードリーダーを教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告。
野村委員	それぞれの方々の資格について尋ねる。
学校教育課長	スクールカウンセラーについては、臨床心理士の資格を有し、スクールソーシャルワーカーは特に必要な資格は無く、スクールガードリーダーについても同様だ。
中谷委員	それぞれが連携され、民生委員はスクールソーシャルワーカーの先生に色々教えてもらったり、アドバイスをもらったりしてありがたいと思う。皆さんたくさん活動されている。
教育長	新潟市の殺害事件を受け、学校教育課長がいち早く文書を各学校へ周知した。学校教育課長に周知した文書の中身と連携についての説明をお願いする。
学校教育課長	不審者対応として、子どもたちの複数での登下校や、「いかのおすし」の繰返しの指導を学校へお願いした。
教育長	いつ何時起きるか分からないので、先手先手でお願いする。
社会教育課長	報告第 10 号 垂水市視聴覚ライブラリー運営委員の委嘱について 垂水市視聴覚ライブラリー委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告。
葛迫委員	視聴覚室の利用状況について、学校は学校で視聴覚教材を見せて、市民館の視聴覚室は全然使っていないのか。
社会教育課長	学校については、社会教育課からDVDなどの教材を借りているが、さざなみ保育園と江ノ島幼稚園は、誕生会などに合わせ、園児を市民館視聴

	<p>覚室に連れてきて、暗い室内でテレビではない映写機の音や色使いなどを観て、大変子どもたちは喜んでいて、月1回の利用はある。</p>
	<p>報告第 11 号 平成 30 年度垂水市地区公民館館長・主事の任命について 平成 30 年度垂水市地区公民館館長・主事を教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告。 (質疑なし)</p>
	<p>議案第 11 号 平成30年度垂水市奨学資金奨学生の決定について (非公開)</p>
4 その他	なし
5 委員並びに教育長及び課長報告	委員並びに教育長及び課長報告
教育長	委員並びに教育長及び課長の報告に入る。
野村委員	<p>1. 「平成30年度鹿児島県教育行政説明会について」 4月16日(月)、県教育行政説明会に出席した。出席された皆様、大変ご苦労様でした。例年と変わらない時間設定であったが、今年は説明を行う部所が更に増え、今まで以上の過密スケジュールであった。 説明会全体を捉えると、説明をする各課長及び室長の方々と、その説明を受ける我々参加者との、言ってみれば「時間を争うレース」みたいな感覚であるが、その重点は「県教育委員会と市町村教育委員会の連携を図る」という大変重要な説明であり、その説明内容をベースにして県全体の教育行政が、県内隅々まで円滑に推進されるのだと強く認識した。 説明会時の膨大な資料には、県教育行政の全てが網羅されているため私たちにとっても最良の拠り所として、その時々臨機応変に活用できればと思っている。</p> <p>2. 「江ノ島除草作業について」 4月25日(水)、協和地区公民館の年間計画である「公民館ボランティア活動」の一環として、江ノ島の除草作業を行った。江ノ島の除草作業は年1～2回の管理作業で、本年度第1回の作業を行い25名の参加であった。 5月2日(水)の協和小の遠足計画に合わせ「子どもたちが少しでも快適に楽しめるように」という思いで毎年同じ時期に作業を実施している。</p>

「江ノ島」の文字をかたどったツツジの木の植え込みや、高倉健の主演映画「ホテル」の記念樹などの一面が、茅や葛に覆われ大変な状態であった。平日のため垂水市漁協組合の方々以外は高齢者が多く、私自身、午前中で「へとへと」になってしまった。作業目標の江ノ島中腹の弁天様の神社跡までは到達できず心残りとなった。たいへんな重労働ではあったが、終わった後の達成感、爽快感もまた格別なものであった。作業後は弁天様に手を合わせて帰路に着いた。

田原委員

1. 「新任・転入教職員宣誓式について」

4月13日(金)、今年も個性豊かな先生方が各学校に転入されていた。特に校長、教頭先生方が明るく元気があり、また新たな校風が築かれるのではないかと思った。管理職が変わると、その先生の人柄や雰囲気、得意領域などで学校経営の重点やポイントの置き方が変わってくる。前任者とはまた違った校風が築かれるのであろうと期待するところである。

2. 「水之上小学校PTA主催の転入教職員歓迎会について」

5月2日(水)、転入教職員歓迎会がPTA主催で開催された。4月に転入されてから早1か月、学校にも慣れ、落ち着きの表情が伺える先生方の様子があった。地域の方は公民館役員を中心に参加し、また孫が小学生といった方々など15名くらいに呼びかけて参加してもらった。参加した地域の方々は、日頃から公民館や学校応援団の方々であると話をした。

水之上では、様々な行事の担い手として、小学生に参加してもらっている。地域で育ち、地域のおじさん方と一緒に活動することで、地域の温かさや愛情を感じるのではないだろうか。そんな思いをこめて地域行事が進められていることを、乾杯の音頭の話の中でさせてもらった。

新しい先生方も学校に慣れてきたら、地域にも目配りできる余裕ができてきてくれるのではないかと期待している。

中谷委員

1. 「新年度がスタートしたことについて」

新年度がスタートして思うことは、学校のことである。学校の隣に住んでいると、学校のことがよく見える。新年度が始まり教職員住宅の住民が代わっても、以前からそこに住んでいたように何事も心配なくことが進んでいく。先生方はその学校の様子をすぐに捉え、きちんと伝統を伝えていく達人だと思った。

2. 「柗原小PTA主催の歓迎会について」

4月20日(金)、教職員歓迎会があり、参加した。お子さんが一年生のとき、学校のことを何も分からなかった保護者が、PTA会長として立派に責任を果たしているのを見ると、会長の意気込みで今年一年が決まるのだ、きっと大丈夫だと思った。やはり係(役)が人を育てるものだと思った。また、今年の小学校入学式の記念写真が回覧されてきた。去年は入学者1名だったが、今年は9名と多かったため、「PTAの会員同士が顔と名前を覚えよう」という趣旨で、親子の写真と名前付きで回覧されていた。

私はそれを預かり、皆さんの名前を覚えたいという思いから、時々そのプリントの写真を見ながら、自己テストをしているところである。出合いを大切にしてくれる保護者の皆さんをうれしく思った。

3. 「絵本の読み聞かせに参加したことについて」

4月19日(木)、柗原小の絵本の読み聞かせに参加した。新一年生が「聞いてくれるかな」と心配であったが、三人の読み手の方々に食い入るように見入ってくれている姿に安心した。読み聞かせが終わってから、ある保護者から「読み聞かせをしていただいているのですね。子どもたちは幸せです。ありがとうございます。」と言われ、ますます頑張ろうと思うことであった。

5月1日付の新聞の「オセモコ欄」で数学者の篠原正彦さんが言っていたが「どんな勉強も国語が基本」で、そのポイントは①スマホより新聞を読もう。②子どものときに読む本がある。③読書で情緒や教養、大局観を育てようであった。絵本の読み聞かせをすることによって、子どもたちの成長のお手伝いになるのなら、ずっと続けていこうと思う。そのようなことから市が実施している「スタートブック、セカンドブック、サードブック事業」は是非続けていってもらいたい。

4. 「振替休日の朝の風景について」

4月30日(月)の朝早く、自宅二階のベランダから学校を見てみると、教頭先生が一生懸命花に水かけをされていた。連休中に大変だなと思い、思わず「教頭先生」と呼んでみると、キョロキョロされたが私を見つけると敬礼をしてくださった。私も「水かけ、ありがとうございます」と敬礼してお返しした。こうやって、見えないところで子どもたちのために、子どもたちの心を育ててくださっている先生方に感謝している。

葛迫委員

1. 「明治維新150周年の年について」

今年が明治維新150周年の年で、県内各地で様々な取り組みやイベントが開催されている。

4月16日(月)、鹿児島県庁で開催された県教育行政説明会の中でも「明治維新150周年次世代継承事業」の中の「薩摩スチューデント派遣事業」での英国へ青少年を派遣する人材育成事業に興味を感じた。そのようなことから、垂水小学校も創立150周年を迎えるということで、記念式典に向けて忙しいところではないだろうかと思いつつ、連休明けの7日(月)に垂水小学校を訪ねてみた。

垂水小学校は明治2年12月に学則が制定され、垂水学校として設立されたとあり、これが垂水小学校の創建ということである。校長先生の話の中から「創立150周年はとらえ方だと思う」という話から「満の年のとらえ方ではなく、数えの年のとらえ方」ということのように感じ取った。

垂水小学校の創立150周年式典が12月2日(日)に垂水市文化会館で開催され、西郷隆盛とイトの曾孫にあたる「西郷隆夫氏」が講演されるとのことで、明治維新150周年とかけ合わせた式典に「維新とともに垂水でも教育が盛んになっていったことを、未来を担う子どもたちに知ってほしい。

教委長

地域の皆さんに垂水小学校を支えてほしい」といった願いを感じ取ったところであった。

1. 「新潟市の悲慘な殺害事件について」

新潟市で発生した小学生の悲慘な殺人事件を受け、改めて「学校の安心安全はどうなっているのか」を直ちに学校教育課長と話をし、学校へも指導をした。「本市は大丈夫か、未然防止の手立てはどうか、連絡体制を見直す必要ないか」などしっかりと子どもたちの安全を担保できるような体制を学校と連携して作っていきたいと思う。

2. 「学校付近における保護者のマナーについて」

高齢者等の歩行者が居ても、スピードを落とさずに走る車がいるなど、厳しい投書をいただいた。「今まで我慢してきたが、もし万一事故が起これば」という心配をしての投書であった。この件について小学校へ投書内容をすぐに送付し、対応するよう伝えた。

以前から思うことは、子どもたちの通学に際し、車で送り迎えする光景をよく目にする。特に雨の日によく見受けられるが、果たして子どもたちがこれで良いのかどうか、子どもたち自身の徒歩での登下校が基本だと考える。今後、PTAの総会などそのような場で、このことについての話ができればと思っている。

3. 「教育委員会の目標について」

市民館2階フロアに、各学校の校長先生の写真を掲示した。教育委員の皆様にも申し上げたが、本年度の教育委員会の目標「気持ち(思い・願い)をかたちへ」というその一環として、校長先生の方々の思いを、姿を「かたちへ」ということで、先生方のお顔と教育信条を掲示した。掲示後は文化協会会員の会終了後に、会員の方々にも、是非市内の校長先生方を知っていただきたいという気持ちから見ていただいた。このことにより少しずつ学校との距離間を縮めていただければと思っている。

4. 「絵画ギャラリーについて」

市民館1階玄関フロアの旧情報コーナーに、絵画ギャラリーを作ろうと考えている。これは「子どもたちの夢と感動を育む絵画ギャラリー」として、子どもたちの絵画作品を入れ替えながら、高齢者から子どもまで目にする展示場所にしていこうと考えている。5月20日(日)の生涯学習オープニングフェア終了後に、絵画ギャラリーのオープニングセレモニーを行い、その後文化会館で和田英作画伯の顕彰碑移転・記念モニュメント建立セレモニーを計画しているので、教育委員の皆様方にもご出席いただきたいと考えている。

教育総務課長
学校教育課長
社会教育課長

4月10日から5月10日までの主な行事等について報告。
併せて、6月4日までの予定についてお知らせした。

6 閉 会